

地域から、ひとり一人の声を想いを大切に

<http://www.togikai-minsyuto.jp/>

都議会民主党

検索

発行 都議会民主党政策調査会

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

Tel.03-5320-7230 Fax.03-5388-1784

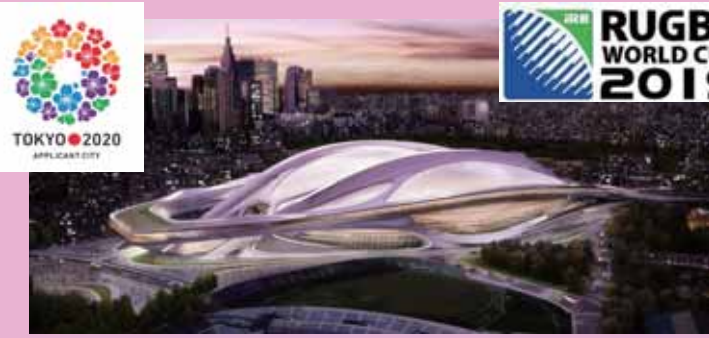
E mail:seisaku@togikai minsyuto.jp

民主党
だからできる
都政改革

夢を支える都政で夢を育むオリンピック開催を!!

猪瀬知事就任後初の定例会であり 25 年度予算を審議する予算議会でもあった H25 年第 1 回都議会定例会は 3 月 28 日に閉会しました。猪瀬知事のもとで最初に編成された総じて堅実な H25 年度予算は、一般会計予算規模で前年度に比べて 1.9% 増の 6 兆 2,640 億円、政策的経費である一般歳出が前年度に比べて 1.6% 増の 4 兆 5,943 億円となり、「団塊の世代」の 65 歳到達で一気に進む高齢化の進展による影響が大きく目的別予算で「福祉と保健」が初めて一兆円を超えました。今村るかは 3 月 14 日の予算特別委員会で質問にたち、招致活動も大詰めを迎えた 2020 年東京オリンピック・パラリンピックを踏まえ開催するにふさわしい東京のあり方・都政のあり方について、東京はその持てる力をすべての

2020 オリンピックとともに、 2019 ラグビー WC の大成功を!!



東京が招致をめざす 2020 年オリンピックに先駆けて 2019 年ラグビーワールドカップは日本での開催が既に決定しています。アジア地域初はもちろんラグビー強国であるイギリス、フランス、ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカ以外での開催自体が初めてという記念すべき大会。こちら大いに盛り上げていかねばなりません!

国内での開催準備活動はこれから本格化しますが、改装される千駄ヶ谷国立競技場含め大会会場誘致はもちろんのこと参加各国のキャンプ地誘致など東京都も積極的に取り組みを進めるべきと、今村るかは猪瀬知事に予算特委で促しました。(イラストは新国立競技場イメージ図)

人の夢を実現するサポートをめざす都市であるというメッセージを、東京オリンピックは世界一夢があふれるオリンピックであることを、最後の最後まであらゆる機会を通じて、都民に全国に全世界にアピールし続けて欲しいと願う立場から、猪瀬都政の基本姿勢を問いかけてきました。もちろん今村るかも子どもや障害者の夢を育むオリンピック・パラリンピック実現に、子どもや障害者の夢を支える都政の実現に全力を尽くします。今回のレポートではその質疑内容を特集してご報告します。皆さんからもご意見をぜひお願い申し上げます。

= 都議会議員今村るか・都政アンケート =

◆ 都政全般についてのご意見・ご要望

◆ お困りごと、今村るかへのご意見・ご要望など

都議会議員

今村るか



町田から人にやさしい都政を!!

◆ 略歴 ◆
1968年8月町田市生まれ42歳
藤の台小、金井小、薬師中卒、
基督教独立学園高、和光大人文学部
人間関係学科卒。1994年町田市議最
年少25歳初当選、連続4期。
2007年都議補選で初当選。2009年7
月都議選で再選。
現在、都議会民主党総務会長代行、
財政委員会委員、都住宅供給公社評
議員、党総支部幹事長、市視覚障害
者協会顧問、市ミニテニス協会顧問
など。

www.i-ruka.net

民主党
だからできる
都政改革

都議会民主党が進めます!! 生活の安心と安全を支える都政。

今村るか、都議会3月議会予算特委で質問に立つ!!

オリンピック開催めざす東京はチルドレンファーストで!!

民主党政権は「コンクリートからヒトへ」と人への投資を重視する理念を示し、「チルドレン・ファースト」として何より子どもと子育てを支援する取り組みを進めました。それは「人口では20%も占めない児童だが我が国の将来は100%彼ら次第だから」です。素晴らしい言葉ですが実は私のオリジナルでも民主党のオリジナルでもありません。イギリスのブレア政権で「子ども大蔵大臣」と呼ばれたブラウン大蔵大臣による予算教書の言葉です。オリンピックが夢の祭典ならば開催地をめざす東京も子どもの夢と育ちを全力でサポートする東京でなければなりません。

なかでも最大限のサポートを必要とするのは、社会的に最も弱い被虐待などで社会的養護に委ねられている子どもたちです。日本の社会的養護は長らく政策的に放置されたような状況で、民主党政権下でようやく施設基準などの見直しが行われ、豊かな社会とのギャップを埋めていこうと進み出したところですが、今村るかには都もこれまで以上に取り組みを促進するよう改めて求めました。

すべての子どもに平等なライフチャンス!!

安倍政権は3年間で約670億円という史上最大の生活保護切り捨てを策しています。受給額が減少する生活保護世帯は96%平均6.5%減少とされています。問題なのは特に子育て世帯の削減幅が最大10%と大きく子どもの貧困と世代を超えた貧困の連鎖の深刻化が危惧されることです。「子どもは親を選べない」だからすべての子どもに平等なライフチャンスを保障することは政治の責任なのです。

ボーダーライン層の教育機会を保障する就学援助制度は重要な制度にもかかわらず運用は市区町村まかせで対象基準のばらつきも目立ちます。対象基準が低ければ低いほど保護基準見直しの影響が大きく対策が必要。今村るかは都としての認識と対応を問いましたが極めて問題意識に欠ける姿勢でした。今後しっかりフォローします。



障害を持つ人たちの自立を支える東京に!!

障害者雇用促進法は障害者雇用の割合を官民それぞれに義務づけています。これまで47都道府県の教育委員会は雇用割合が低く問題視され続けてきました。しかし最近各地で努力を重ねられ、適正実施勧告を受けたのはH21年の37都道府県からH25年にはわずか6都県となりました。今村るかはこれまでも再三にわたり議会で指摘し続けてきましたが5回も続けて勧告を受けた都教委の姿勢は信じがたいしはや許されないことです。パラリンピックを招致しようとしている都の姿勢としても極めて重大問題と今村るかは緊急対応を断固求めました。また障害者自立支援法にかわる障害者総合支援法の円滑な施行準備や発達涉外支援体制の充実についても質疑を通じて求めました。

世界の子どもたちの育ちと夢の支援も!!

オリンピック・パラリンピックは開催そのものが最終目的ではなく、それを通じて次世代に何を伝え何を残すことができるのかが重要なことではないでしょうか。オリンピックを好機として被災地はもとより日本中の子どもはもちろんのこと、東京の力を世界中の子どもたちの夢をはぐくむことに大いに活用することを世界にアピールすべきと考えます。都内外で個人法人スポンサーを募り、世界の子どもたちの育ちと夢のサポートを目的とする基金をつくるぐらいの大きな夢があってもいいのではないかと考え猪瀬知事のアイデアとリーダーシップを問いました。



この他、東京オリンピック期に集中的整備され一斉に更新期を迎える東京の都市インフラの延命・更新と財源確保策や人口減・都心回帰の流れに抗する多摩地域ビジョンについてなどお伝えしきれなかった質疑内容は都議会HPでご覧下さい。

<http://www.gikai.metro.tokyo.jp/record/yotoku/2013/4-04.html>

郵便はがき

194-8790

料金受取人払

町田支店
承認

0787

差出有効期間
平成25年7月
31日まで
(切手不要)

町田市本町田3549番地-3
藤の台団地2-50-203

東京都議会議員 (都議会民主党)

今村るか 事務所 行



お名前

(歳)

ご住所

〒 町田市

お電話・FAX

E-mail